

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 1 区分

【発行日】平成28年6月30日 (2016.6.30)

【公表番号】特表2012-513945(P2012-513945A)

【公表日】平成24年6月21日 (2012.6.21)

【年通号数】公開・登録公報2012-024

【出願番号】特願2011-542814(P2011-542814)

【国際特許分類】

C 0 1 B 25/45 (2006.01)

H 0 1 M 4/58 (2010.01)

H 0 1 M 4/36 (2006.01)

【F I】

C 0 1 B 25/45 Z

H 0 1 M 4/58 1 0 1

H 0 1 M 4/36 B

【誤訳訂正書】

【提出日】平成28年5月10日 (2016.5.10)

【誤訳訂正 1】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0 0 4 4

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0 0 4 4】

好ましい実施の形態では、酸化状態が + 5 のリン原子を少なくとも 1 個含む、少なくとも 1 種の化合物に酸化される、少なくとも 1 種の還元剤は、炭素を含まない（カーボンフリーである）。本発明に従えば、「カーボンフリー（炭素を含まない）」は、リン - 含有還元剤中に炭素原子が存在しないことを意味する。H<sub>3</sub>PO<sub>3</sub>等のカーボンフリーの還元剤の有利な点は、熱水工程(hydrothermal process)で、せいぜい 3 0 0 の低温で還元を行うことができることである。これに対し、例えば還元剤としての炭素は、6 0 0 以上の温度を必要とする。本発明に従う低温は、ナノ - 結晶性材料を得ることを可能にする。ナノ - 結晶性材料は、（例えば還元剤として炭素が使用される場合には、通常必要とされる）高温では集塊する傾向がある。